

保幼小中一貫教育だより ～豊かな自然と豊かな人材で豊かなこどもを育てる～



豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第93号 R5. 5. 15

令和5年度 第1回学校運営協議会（開校準備委員会）開催

今年度第1回目の学校運営協議会（開校準備委員会）が東地区は4月24日（月）、西地区は4月28日（金）に開催されました。会議の内容は以下のとおりです。

第1部 学校運営協議会・開校準備委員会

1. 開会
2. 委嘱状の交付
3. 教育長あいさつ
4. 自己紹介
5. 開校準備委員会の予定について

第2部 開校準備委員会

1. 開校準備委員会各部会の委員について
2. 標準服制作業者の説明

第3部 学校運営協議会

1. 各所属長より学校園所の方針（ランドデザイン）について
2. 今年度の部会運営について（東地区のみ）
3. 各部会に分かれての懇談（東地区のみ）
4. 連絡事項
5. 会長あいさつ

今年度「開校準備委員会」では、義務教育学校の学校経営方針（ランドデザイン）作成、標準服デザイン、校歌、校章について協議していきます。



東地区では、4つの部会（情報発信に関する部会、安全面に関する部会、学び・育ちに関する部会、環境美化に関する部会）に分かれて活動の協議を行いました。



東地区



西地区

令和5年度 保幼小中一貫教育合同研修会 開催

5月10日（水）に今年度第1回目の保幼小中一貫教育合同研修会を東能勢小学校の体育館で行いました。

研修会の前半は、事務局より今年度の2つの重点的な取り組みについて以下説明をしました。

- ① 「小中一貫カリキュラム」を活用した授業実践および研究授業の実施
- ② 「とよの未来科」の本格実施

①の「小中一貫カリキュラム」は、小・中学校の教員が互いの教育課程を理解し合い、小・中学校の教育課程の系統性を確保しつつ、9年間の連続した学びを実現するために昨年度作成しました。

「とよの未来科」は、「とよの」を学ぶことを通して、自分の生き方について考えたり、豊能町の未来について考えたりする学習です。豊能町の「豊かな自然」と「豊かな人材」を活かした、豊能町だからこそできる、豊能町ならではの学習となります。

これらは、本町のめざす子ども像「豊能町に誇りをもち、自信をもって、社会を生き抜く子ども」の実現に向けた、取り組みです。

そして、後半では、「確かな学びと豊かな心の育成～保幼小中の発達を踏まえて～」と題し、学校法人 聖ウルスラ学院 理事長 梶田 叡一先生にご講演いただきました。ご講演の中で「いい先生とは、勉強を教えるのが上手であり、同時に子ども達の心も養ってくれる先生である」というお話がありました。これからの社会を生き抜く子どもたちに身につけていく必要のある「確かな学び」をどのような方法で、どのように学ばせていくのがよいのかを考えなければなりません。同時に、人間としての在り方を養うことも大切です。食事の時には、「いただきます」や「ごちそうさま」が言えるなど、幼少期からの「人間教育」が大切であるとお話がありました。

これからの日本社会には、たくましく個性豊かな人材が求められています。子どもたち一人一人の力を最大限伸ばすことのできるよう、校種を越えて学びの在り方について考えていきたいと思えます。



町内から約 90 名の先生方の参加がありました。

